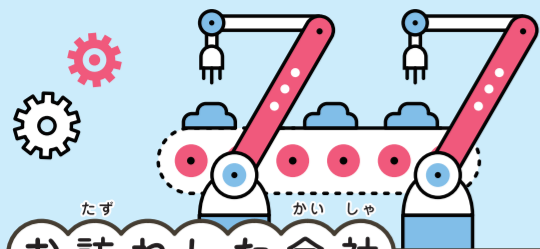


広告



お訪ねした会社

社名：株式会社桃太郎部品
住所：岡山県岡山市北区
WEB: https://momo-parts.jp/

使われなくなったクルマを引き取って、解体する工場を運営しているよ。地域活動をする人たちに、向けに会社の会議室を開放するなど、地元の方々との交流も盛んに行っているんだって！

こちらに伺いました！



使える部品を再利用!

クルマのリサイクルの流れ



金属類は原材料にもどしてさまざまな製品に使われます。残ったシュレッダーダスト(プラスチックやゴムなど)は、ユーザーが支払ったリサイクル料金を使ってさらに原材料にもどしたり、熱源として再利用されます。



人やモノを運ぶ自動車は、私たちの生活に欠かせないものだけど、使い終わった後はどうなっているのか、知っているかな? 実は使用済み自動車の99%(車両重量でみた場合)はリサイクルされているんだ!そこで、クルマに関わる人たちのさまざまな努力と工夫を紹介する「クルマのリサイクル」シリーズを今回から7回にわたってお届けするよ。

「記念すべき第1回となる今回は「解体工場」にやってきたよ。役割を終えたクルマにも、まだ使える部品はたくさんある。状態がいい部品を取り外してきれいにすれば、交換用として活用できるんだ。自動車のリサイクルに詳しい「自動車リサイクル博士」と一緒に、工場の中を見に行こう!

見て・聞いて・学ぼう!

地球のために! 未来のために!

クルママのりサイフル



vol.1

解体編

プラスチックもリサイクル

クルマの内装には、たくさんのプラスチックが使われている。それらを細かく砕けば、燃料や新しいプラスチック製品の素材として再利用できるんだ。桃太郎部品の工場では、手作業で丁寧に分別したプラスチックを、専用の機械でチップ状に加工していたよ。



専用の装置でプラスチックを細かく砕く!

捨ててしまったらもったいない!



▲部品の見極めには知識と経験が必要

桃太郎部品に自動車を持ち込まれると、知識と経験を持った社員さんがまずみまで検査し、「まだ使えるのどの部品か」を見極める。

ステップ2 「まだ使える!」部品の再利用



▲部品がたくさん詰まった外国行きのコンテナ

そして、取り外した部品をきれいに清掃した上で、交換用として販売するんだ。このような部品を「リサイクル部品」と呼ぶよ。リサイクル部品を使えば、資源を有効活用することになる。その上、ユーザーが買うときの値段も新品より安いから、いいことづくめ! また、日本のクルマに使われている部品はとも丈夫で高性能だから、海外の買い手向けに輸出することも多いんだって。

みんなを自動車リサイクルの世界に案内するよ!



安全な作業と環境の保全



▲自動車リサイクル博士

まずはじめに、自動車のエアコンに使われるフロンガスを、専用のポンペに回収するよ。このガスを大気中に放出してしまったり、オゾン層に穴を空けたら、地球温暖化につながる恐れがあるんだ。回収されたガスは、別の工場が無害化されるんだって。このフロンガスの正しい処理には、クルマのユーザーが支払った「リサイクル料金」が使われているよ。

ステップ1 「まずはこれ!」事前処理



▲エアバッグの処理

エアバッグは、乗っている人を怪我から守ってくれるもの。解体工場では、専用の機械をクルマにつなぎ、破裂させて取り外すんだ。「ポン!」という大きな音が出ていたよ! また、フロンガスと同様に、エアバッグの正しい処理にも「リサイクル料金」が使われているんだ。

ステップ3 「達人の技で!」車体を解体



▲重たい車体を持ち上げて、ポキリ!

再利用できる部品を取り外した後の車体は、その後のリサイクル工程のために、部品ごとに分けておく必要がある。そこで活躍するのが、ベンチのようなアームを持った重機「ブレードアーク」やボンドなどを器用につかんで、どんどん解体していくよ。こうして小さくなった車体は、鉄やアルミなどの資源を素材ごとに分別、回収する「破砕工場」へと運ばれるんだ。

③燃料等の抜き取り
解体工場に引き取られたクルマの中には、ガソリンや軽油等が残っていることもある。万一この燃料に火がついたら大変! 火災が起きないように、車体の下側からタンクに直接穴を開けて中の燃料を回収しておくよ。

今回は破砕工場編!



今回のまとめ
解体工場に引き取られたクルマは、まずフロンやエアバッグ、燃料を適切に処理されていく。そして、まだ使える部品を取り外し、リサイクル部品として再利用しているんだね。部品を取った後の車体は重機で解体され、金属などの資源を分別、回収する破砕工場へと送られるんだ。

クルマのリサイクル作品コンクール

標語・ポスター大募集!!

応募締め切り 2023年2/28(火)必着

「クルマのリサイクル」について学んだことを標語・ポスターにして応募してみよう!!

詳しくはこちらから

クルマのリサイクル

検索

